

原水禁大会特別分科会
2020年7月16日(収録日)
相原由奈(第15代高校生平和大使)

参考文献・資料のご紹介

① 高校生平和大使・高校生一万人署名活動関連

<高校生平和大使>

高校生1万人署名活動実行委員会監修, 高比良由紀著『高校生平和大使: ビリョクけどムリョクじゃない!』長崎新聞社, 2007.6
「高校生平和大使にノーベル賞を」刊行委員会編『高校生平和大使にノーベル賞を: 平和賞にノミネートされた理由』長崎新聞社, 2018.8
「はばたく高校生平和大使」刊行委員会監修『はばたく高校生平和大使: それぞれの想いをのせて今』長崎新聞社, 2014.8

<高校生一万人署名活動>

高校生一万人署名活動実行委員会監修『高校生一万人署名活動 2(世界に広がるネットワーク 2001-11)』長崎新聞社, 2011.8
高校生一万人署名活動実行委員会, 長崎新聞社編集局報道部著『高校生一万人署名活動: 高校生パワーが世界を変える』長崎新聞社, 2003.11

② 在ブラジル被爆者関連

<在ブラジル被爆者>

藤原茂「ボンバ・アトミカー南米に生きる被爆者たち三か国の百数十人が母国の援護を求めていた」潮出版社『潮』一九八五年(昭和60年)一月号
ブラジル被爆者平和協会『南米在住ヒバクシャ 魂の叫び』コジロー出版、2014年
ブラジル被爆者平和協会 HP※2004年～2011年に更新されていたもの。現在も閲覧可能。
http://www5f.biglobe.ne.jp/~vitima_bomba-atmica_brasil/
森田隆、森田綾子編著『ブラジル・南米被爆者の歩み—あの日がすぎて、巡りくる日々とともに—』「ブラジル・南米被爆者の歩み」刊行委員会、2001年
TAKASHI MORITA “A ultima mensagem de HIROSHIMA –O que vi e como sobrevivi a bomba atomica-”UNIVERSO DOS LIVROS,2017.4 (ポルトガル語)

<在外被爆者>

竹田信平、和氣直子『海を超えたヒロシマ・ナガサキ』ゆるり書房、2014年7月

田村和之編『在外被爆者裁判』信山社、2016年11月

中島竜美編『日本原爆論大系 第3巻 原爆被害は国境を越える』株式会社日本図書センター、1999年6月

平野伸人編『海の向こうの被爆者たち—在外被爆者問題の理解のために』八月書館、2009年6月

③ その他

<被爆体験の継承>

宇吹暁『ヒロシマ戦後史—被爆体験はどう受けとめられてきたか』岩波書店、2014年7月

直野章子『原爆体験と戦後日本—記憶の形成と継承』2015年7月

<下平作江さんの被爆証言>

<https://www.youtube.com/watch?v=Ngtl6O2XlwQ>

ここで挙げさせていただいたもの以外にも文献・資料・映像などは、被爆者の方々やその思いを受け取ったの方々によって、たくさん遺されています。図書館や資料館、YouTubeなどで閲覧可能なものも多いので、ぜひ探してみてください。